

2006 年度「夏の学校」のお知らせ

天文・天体物理若手の会 夏の学校（以下、「夏の学校」）は、天文学および宇宙物理学に携わる大学院生を中心とする若手研究者の組織「天文・天体物理若手の会」が主催する合宿形式の研究会です。

- ◆日時：2006 年 7 月 31 日（月）～8 月 4 日（金）
- ◆場所：パノラマランド木島平（長野県下高井郡木島平村）
- ◆夏の学校事務局ウェブページ：<http://www.a.phys.nagoya-u.ac.jp/ss06/pub>

今年で 36 回目を迎える夏の学校は、全国の各研究機関から毎年 300 名以上の若手研究者が集まり、交流を深める合宿形式の研究会です。ほかの分野の研究者と積極的に議論を行うことによって、研究に対して客観的な視点をもつことや、同じ夢を目指す仲間、友だちの輪を広げることを目的としています。

近年、X 線天文衛星「すざく」や赤外線天文衛星「あかり」などが打ち上げられ、今後これらの新しい宇宙の目を用いた新しい分野の研究が広がっていくことが期待されます。そこで今年の夏の学校では、このような新しい分野のひとつとして系外惑星を取り上げ、新たなセッションを設けました。第一線の研究者を迎えた招待講演や学生による発表を通して、この分野への理解と興味を広がることを期待します。ほかにも表 1 に掲げた天文学の代表的な分野についてセッションを開催します。口頭発表のほかポスター発表の場も設け、多くの研究者が発表できるような環境を作っています。

今年度の夏の学校は緑澄みわたる長野県木島平村で開催します。信州の豊かな星空の下活発な議論が交わされることを望みます。

「夏の学校」に関する最新情報は随時 Web 上で更新していきます。具体的な参加申し込みの方法はそちらをご覧ください。事務局員一同、皆様のご参加を心からお待ちしております。

2006 年度天文・天体物理若手の会
 (文責) 夏の学校事務局広報担当 水野陽治
 連絡先: ss06_info@z.phys.nagoya-u.ac.jp

表 1 セッション一覧.

セッション名	テーマ
相対論・宇宙論	NEXT —相対論・宇宙論新時代の萌芽—
観測機器	機器なくして観測なし —No Detector, No Observation—
星間現象	星の素, 銀河の素, 宇宙の素, ISM
銀河・銀河団	ワイドバンドで探る銀河・銀河団
太陽・恒星	衛星や光赤外干渉計による観測を見据えて
コンパクト・オブジェクト	コンパクト・オブジェクトの今昔
宇宙線	宇宙を見る目としての宇宙線
系外惑星	系外惑星研究の現状, そして未来
天文学と社会	こんな天文学知ってますか
天文学の舞台裏	グローバル天文学の進展と将来
事務局企画	栄光へ向かって走る学生たちへ

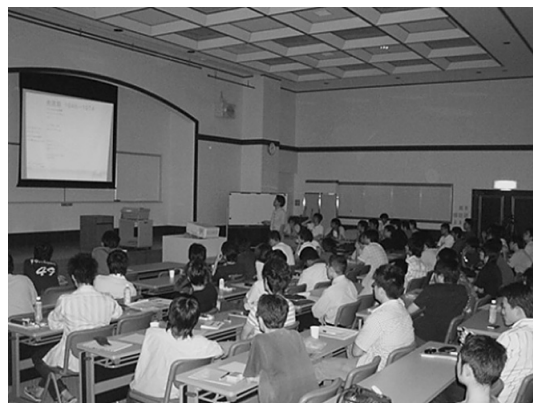


図 1 昨年度の会場の様子.